

③年間指導計画(5年生)

単元名 栄ファーム開園

単元の指導計画・評価計画(70時間)【1学期:25時間、2学期:25時間、3学期:20時間】

探究の過程	○主な学習活動 ・学習内容 「 」予想される児童の反応	◇指導上の留意点(配慮・手立て) ★評価 評価方法 発発言分析 記記述分析 つつぶやき分析 行行動観察 作作品分析	○言語活動 ▲活用する力 (SDGs、関連教科等) ●活用する資料、外部人材
課題設定 <4時間>	【R6】 ○どのようなことをやりたいのか決める。 ・話し合い決定する。 ・稲の育て方を調べる。 ・稲の芽だしをする。 ・バケツ稲の準備をする。 ・田植えをする。 ・水やりや育てるうえでの注意点などを調べる。 ・害虫・害獣対策を講じる。 ・常時、水やりをする。 【R7】 ○どのようなことをやりたいのか決める。 ・二十日大根を育ててみる。	【R6】 ◇教師側の押し付けにならないように児童から出た意見を活用する。 ★稲や野菜の育て方を理解する。(概念的な知識) ★農作物への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。 (課題の設定) 発 記 つ 【R7】 ◇児童から出た思いや意見を活用する。 ★農作物への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。 発 記 つ	【R6】 ●JAのHP ○話し合い活動をする。 ▲社会科「くらしを支える食料生産」 【R7】 ○話し合い活動 ○情報交換 ▲社会科「くらしを支える食料生産」 ▲道徳科「ひとふみ十年」 ▲家庭科「クッキングはじめての1歩」 ▲国語「目的に応じて引用する」 ▲SDGs 1 2

情報収集 〈11 時間〉	【R6】 ○育て方を調べて実行する。 ・シンキングツールのフィッシュボーン、クラゲチャートを使って工程をまとめる。 ・必要なものがあるときもどのようにしたらそれが手に入るのかを考えさせ、自分たちで尋ねたり頼んだりする。 ○他のものも育てたいな。 ・稲が育つまで時間があることや子どもたちが決めた最終目標はレシピを作りたいということだったためそれを伝え、それ以外にも何か育てたいという話を出させる。 【R7】 ○育て方を調べる。 ・二十日大根の育て方を調べる。 ・水やりや育てるうえでの注意点などを調べる。 ○地域の農家さんから、野菜をよく育てるための話を聞いたり、インタビューしたりする。 ・野菜を育てる上で分かっていないことに気づき、農家さんに聞きたいことを考える。	【R6】 ★課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。 (情報の収集) 発 記 ★農作物への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。 (課題の設定) 記 行 【R7】 ★野菜を育てたり、野菜を育てている人々の思いや願い、取り組みを知ったりすることで「食」の大切さを理解している。 発 つ 記 ★課題解決に向けて、筋道を立てて探究課題に進んで取り組もうとしている。 発 つ 行 ★野菜を育てている中で、感じたことや疑問に思ったことをインタビューしたり、調べたりして情報収集している。 発 記 行	【R6】 ●JA の HP ○話し合い活動をする。 ▲社会科「米作りのさかんな地域」 ▲理科「植物の発芽や成長」 ▲国語「目的に応じて引用するとき」 【R7】 ●理科専科の教員 ●二十日大根の種
整理分析 〈7 時間〉	【R6】 ○収穫後、精米したので、生かせる方法を探す。	【R6】 ★課題解決に向けて、観点に合わせて情	【R6】 ○話し合い活動をする。

	・お米を実際に食べる。 家庭科の学習内容「食べて元気に」と関連 【R7】 ○二十日大根の育て方を決め、実際に育てる。 ・どんな方法でどうしたいかを個人で決める。 (植え方：鉢植え・プランター・畑・ペットボトル・牛乳パック) ○二十日大根がよく育った、育たなかった原因を分析する。 ・よく育つための方法やよく育たなかった原因を考える。	報を整理し考えている。(整理・分析) 【R7】 ★自分の課題に対して、最後まで諦めずに、自分にできることを見付けようとしている。 発 っ 行 ★自分が育てている野菜の特徴やよさ、育て方を比較しながら情報を整理し、分析している。 発 記	▲家庭科「クッキングはじめての一步」 【R7】 ▲理科「植物の発芽や成長」
まとめ 表現 〈3時間〉	【R6】 ・お米を炊いて食べる。 ・自分たちが育てたお米を食べた経験から、何ができるか。どうしたいかをまとめ、次につなげる。 →お米を作ることの大変さを知ること、農家への感謝 →お米を使ったレシピを考え地域に広める。 【R7】 ○実際に育てて学んだこと/疑問に思ったことなどをまとめる。 ・疑問に思ったことを農家さんに聞く。 ○個人でロイロノートに二十日大根を育てて分かったことをまとめる。	【R6】 ★埼玉県の特産物を地域に広めたり良さを伝えたりしている。(探究的な学習のよさの理解) ★相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。(まとめ・表現) 【R7】 ★自分とは違う意見や考えのよさを生かしながら、協働して学び合い、自分の成長に自信をもち活動を振り返っている。 発 っ 記	【R6】 ▲家庭科「食べて元気に」 【R7】 ●市役所の出前授業 ●並木さん

探究の過程	○主な学習活動 ・学習内容 「 」予想される児童の反応	◇指導上の留意点（配慮・手立て） ★評価 評価方法 発発言分析 記記述分析 つつぶやき分析 行行動観察 作作品分析	○言語活動 ▲活用する力 (SDG s、関連教科等) ●活用する資料、外部人材
課題設定 〈3時間〉	【R6】 ○2学期に何を育てたいのかを決める。 ・話し合い、決定する。 ・1組・・・小松菜 ・2組・・・ほうれん草、しゃくしな、人参、大根 【R7】 ○2学期に何を育てたいかを決める。 ・次の課題を設定する。(マインドマップ) ・実際に育てて学んだこと/疑問に思ったことなどをまとめる。 ・まとめた内容について農家さんに聞く。	【R6】 ◇教師側の押し付けにならないように児童から出た意見を活用する。 ★農作物への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。(課題の設定) ★自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。(主体性・協働性) ★農作物への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。 発 記 つ ★課題解決に向けて、筋道を立てて探究課題に進んで取り組もうとしている。 発 つ 行	【R6】 ○話し合い活動をする。
情報収集 〈5時間〉	【R6】 ○育て方を調べて実行する。 ・シンキングツールのフィッシュボーン、クラゲチャートを使って工程をまとめる。 ・必要なものがあるときもどのようにしたらそれが手に入るの	【R6】 ★稲や野菜の育て方を理解する。 (概念的な知識) 発 記 ★農作物への関わりを通して課題をつ	【R6】 JAのHP ○話し合い活動をする。 ○相手に伝わるようにまとめる。 ▲社会科「山のすそ野に広がる高原」

	かを考えさせ、自分たちで尋ねたり頼んだりする。 ・土の状態を野菜にあったものにする。 「ほうれん草、人参、大根はアルカリ土壌が適しているらしい。石灰を入れてアルカリ土壌にしよう。」 小松菜について 「密植すると葉も薄くなり、株張りも悪くなるから、5 CM くらい間をあけて植えないといけないね。」 【R7】 ○野菜がよく育つために、地域の農家さんや校内で詳しい先生にインタビューしたり、グループで話し合ったり、調べたりする。 ・よく育つための実践方法を自分の育てている野菜に沿って調べたり、何を実践するか考えたりする。 「暑いのかもしれない。」 「芽は出たけど、虫に食べられちゃうな。」	くり、解決の見通しをもっている。 (課題の設定) 発 行 記 【R7】 ◇子供が疑問に思ったことをすぐに解決できるように、人材の確保をする。 ★農家さんにインタビューをしたり、野菜を育てたりした経験を通して得た知識を図や文章で記録している。 発 行 記 ★自分が育てている野菜の現状から原因と対策を考えている。 発 行 記	▲理科「植物の発芽や成長」 ▲国語「目的に応じて引用するとき」 【R7】 ●並木さん ●並木農園さん ○話し合い活動をする。 ○相手に伝わるようにまとめる。 ▲理科「植物の発芽や成長」 ▲国語「目的に応じて引用するとき」 ▲社会「これからの食糧生産とわたしたち」
整理分析 〈5 時間〉	【R6】 ○情報の取捨選択を行う。 ・話し合い活動を通して、自分が調べた情報の中で何が使えるのかを話し合い実践できるように手順をまとめる。	【R6】 ★課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えている。(整理・分析) 発 記	【R6】 ○話し合い活動をする。 ▲国語「目的に応じて引用するとき」 ▲社会科「これからの食糧生産とわたしたち」
整理分析 情報収集	【R7】 ○得られた情報を分析し、必要な情報を追加で収集する	【R7】 ◇農家さんの野菜の様子を見学できるよ	【R7】 ●松原先生

〈6時間〉	・野菜の現状を通して、原因と対策について考える。 「芽が出ないのは、まだ暑いからかもしれないから、涼しい場所で育てればいいかな。」 「実際に農家さんの育てている野菜を見たい。」	うに時間と人材を確保する。 ★野菜を育てたり、野菜を育てている人々の思いや願い、取り組みを知ったりすることで「食」の大切さを理解している。 発 づ 記 ★自分が育てている野菜の特徴やよさ、育て方を比較しながら情報を整理し、分析している。 発 記	○話し合い活動をする。 ▲国語「目的に応じて引用するとき」 ▲社会科「これからの食糧生産とわたしたち」
まとめ 表現 〈6時間〉	【R6】 ○実践する。 ・土の状態を整える。 「石灰を○グラム入れるとアルカリ土壌になるようだ。ほうれん草は強アルカリ土壌だから多く石灰を入れよう。」 「土を整えたら1週間置くといいらしい。1週間後に種を植えよう。」 ・植える 「2、3粒ずつ植えていこう。」「土が柔らかくなってきたな。」 【R7】 ○集めた情報や育てた野菜のことについて日記や畑ストーリー、新聞などにまとめる。 ○育てた野菜を食べて、農作物を育てることのよさやすごさを実感する。	【R6】 ★自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。 (主体性・共同性) 行 発 ★相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。(まとめ・表現) 行 記 作 【R7】 ◇児童が主体的にまとめられるようにまとめ方の選択肢を多く用意しておく。 ★保護者や他学年、地域の方などに野菜の魅力を知ってもらうために、相手に	【R6】 ○話し合い活動をする。 ●JAのHP 【R7】 ○話し合い活動をする。

		合わせて分かりやすく表現している。 発 作 ★自分とは違う意見や考えのよさを生かしながら、協働して学び合い、自分の成長に自信をもち活動を振り返っている。 発 つ 記	
課題設定 〈3時間〉	【R6】 ○より美味しく育てるにはどうしたらよいだろうか。 ・虫対策 ・栄養を与える 【R7】 ○野菜を育てることを通して得た成果や課題等を振り返る。 「二十日大根は上手くいかなかったけど、次に育てた野菜はよく育っていったね。」 ○「食」について、感じた自分の思いを考え、計画を立てる。 「オリジナルの野菜レシピをつくって、野菜の美味しさを広げたい。」 「農家さんの一日に密着して、野菜を育てている人のすごさを伝えて野菜嫌いを減らしたい。」	【R6】 ★農作物への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。(課題の設定) 発 記 【R7】 ◇児童それぞれの魅力の伝え方ができるように、伝え方の手段ごとの人数制限を設けず、児童の興味に沿った課題を設定できるようにする。 ★農作物への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。 発 ★課題解決に向けて、筋道を立てて探究課題に進んで取り組もうとしている。 発 記	

情報収集 〈5 時間〉	【R6】 ○調べる。 ・それぞれの野菜につく虫を調べたり病気にかかっている葉を調べたりする。 ・地域の人参農家さんへインタビューする。その際、野菜の写真を見せて、アドバイスをもらう。 ・害虫対策について調べる。 【R7】 ○どのような発信方法があるか調べる。 「自分たちで考えたレシピを近所のスーパーに置いてもらって、色んな人に見てもらいたい。」 「密着した様子を動画に撮って、全校生徒に伝えたい。」	【R6】 ★課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。(情報の収集) 発 記 【R7】 ◇児童同士で対話をしながら、やりたいことを考え深められるように、座席をグループの形にして、対話がしやすいようにする。 ★野菜を育てている中で、感じたことや疑問に思ったことをインタビューしたり、調べたりして情報収集している。 発 記 ★自分の課題に対して、最後まで諦めずに、自分にできることを見付けようとしている。 発 つ	【R6】 ●JA の HP ●野菜農家との連携 ○相手に伝わるように話す。 ▲話し言葉と書き言葉 ▲国語「目的に応じて引用するとき」 【R7】 ●野菜農家との連携 ○相手に伝わるように話す。 ▲話し言葉と書き言葉 ▲国語「目的に応じて引用するとき」 ▲家庭科「食べて元気に」
整理分析 〈7 時間〉	【R6】 ○自分の持っている情報と野菜を比べる。 ・自分たちの育てている野菜の写真とサイトを比べる。	【R6】 ★課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えている。 (整理・分析) 記 行	【R6】 ▲国語「目的に応じて引用するとき」

	【R7】 ○これまでの活動の中から、伝えたいことを洗い出す。 「どんな料理の方法が美味しいかな。」 「家庭科の調理自習で勉強したことを生かせそうだね。」 「農家さんのやりがいインタビューして皆に伝えたい。」 ○伝えたいことを整理して、適した伝え方について考える。 「小さめのカードの形にした方が色んな人が気軽に取りやすいよね。」 「何分くらいの動画が見やすいかな？」	【R7】 ◇シンキングツールを活用して、発信する方法や伝えたいことを整理できるようにする。 ★野菜を育ててみたり、野菜を育てている人々の思いや願い、取り組みを知ったりすることで「食」の大切さを理解している。 発 っ 記 ★自分が育てている野菜の特徴やよさ、育て方を比較しながら情報を整理し、分析している。 発 記 ★野菜の魅力を伝えたいという目標の実現に向けて、進んで提案したり、練習したりしている。 発 記 っ 行	【R7】 ●栄養職員 ▲国語「目的に応じて引用するとき」
まとめ 表現 〈5時間〉	【R6】 ○実践する。 ・病気になっている葉を取る。 ・酢酸水を作り吹きかける。 【R7】 ○保護者や他学年、地域の方、農家さんなどを対象に農作物の魅力を発信する	【R6】 【R7】 ◇児童が発信したい相手を自由に選ぶことができるようにする。 ★保護者や他学年、地域の方などに野菜	【R6】 ●JAのHP 【R7】 ●市野さん ●並木衛さん ●並木さん（並木農園）

	○今年度の総合を振り返る。	の魅力を知ってもらうために、相手に合わせて分かりやすく表現している。 発 っ 記 行 作 ★地域の方と関わりながら「食」の大切さを深めることができたのは、「食」を探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。 発 記	●松原さん ●栄養職員 ●調理員さん
--	----------------------	---	---